

「議論より行動へ！」

宮城県商工会連合会

会長 天野忠正



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、新たな決意を胸に新年を迎えられたこと

と、心よりお慶び申し上げます。二〇〇七年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の日本経済は大企業の大幅な業績向上等から、いざなぎ景気に並ぶ戦後最長の景気回復の中にありましたが、地方の経済環境は、原油価格の高騰、企業間競争の激化、大型店の出店等により依然として厳しい状況が続いております。

また、県内市町村における平成の大合併も一段落し、宮城県の地図が大きく塗り替えられましたことはご承知のとおりであります。

このような状況の中で、県内商工会におきましても、長い間地域に根ざした事業活動を展開してまいりました六十九の商工会は、現在、三十八の商工会に再編され、また、本年には黒川郡内四商工会の合併が予定されており、大きな環境変化に対応した組織再編のなかで新しい局面を迎えております。

本年も今まで以上に商工会合併・広域連携の利点を存分に活かし、小規模事業者に対する経営全般の指導支援はもとより、経営革新や創業支援を強力に推進し、更には商店街の活性化、まちづくり等に積極的に取り組み、会員事業所に対するサービスの向上と多様化する小規模事業者のニーズに十分対応できるよう巡回訪問、窓口相談の充実強化に努めて参る所存であります。

商工会は議論より行動へと力強く一步を踏み出し、「会員にとって魅力ある商工会」、福祉策などの推進により、福祉サービス水準の更なる向上を図るほか、子育てや女性の就労環境の整備、子どもの能力や創造性を高める教育を進めてまいります。

「地域になくはならない商工会」を目指して参りますので、会員皆様の商工会事業へのおお一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、商工会の役員並びに会員事業所が一体となり、商工会を取り巻く環境の変化に積極的に挑戦し、乗り越えていかれることを心から念願するものであります。

最後になりましたが、会員皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。

県民とともに築きたい「豊かでやすらぎのある宮城」

宮城県知事

村井嘉浩



明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい希望に満ちた新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

ます。

商工会の皆様方には、地域の総合的経済団体として、工業の発展と地域経済の活性化のため、日頃御尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、国内外の情勢が激変する中、県では、県民の皆様が希望を持って安心して生活できるみやぎを構築するため、「富県みやぎの実現」「安心と活力に満ちた地域社会づく

り」「人と自然が調和した美しく安全な県土づくり」を基本とした政策に取り組んでまいります。

まずは、本県の経済成長の原動力となる強い産業基盤を築くため、自動車関連産業の誘致、競争力のある産業の育成・集積、県内企業の海外経済活動の支援などに取り組みほか、観光客の誘致により県内の消費需要を高め、産業や経済の活性化を図ってまいります。

次に、誰もが安心して暮らせるみやぎを実現するため、救急医療体制の整備や各種福

さらに、経済成長と環境保全が両立する社会を実現するため、地球温暖化対策や廃棄物の再資源化などの環境政策に取り組みほか、地震などの災害に備え、各種施設の整備や情報ネットワークの充実を図るなど、災害に強い宮城県を構築してまいります。

さて、今年三月には、仙台空港アクセス鉄道の開業が予

定されており、本県の観光振興や国際戦略を推進する上で大きな強みになるほか、東北全体の発展に大きく寄与するものと期待しております。

県民一人一人が「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」と思える宮城県を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。あいさつといたします。